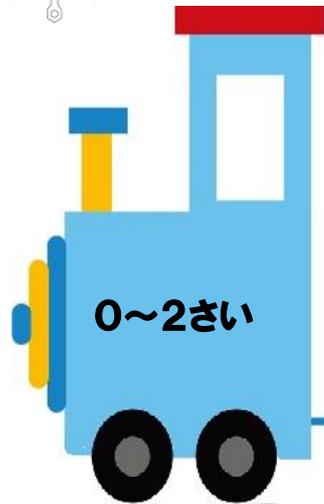


おはなしトレイン

ふゆのワクワク号

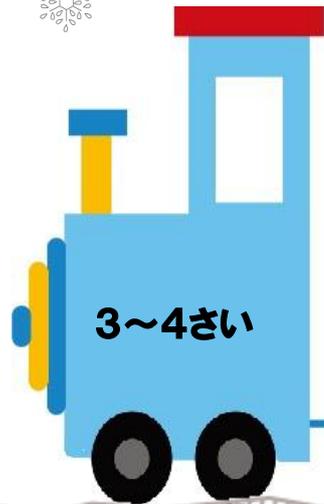
0さい(あかちゃん)から 5さいまでの みなさんに おすすめの本を 選びました。



作/ジョン・バーニンガム
訳/谷川俊太郎
富山房

『ゆき』

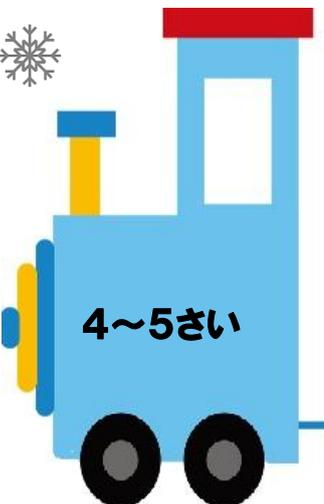
雪の降ったある日、男の子はお母さんと雪だるまを作り、そり遊びをしました。とても楽しそうな男の子でしたが、そりから落ちて手袋をなくした顔は悲しそう。お家に入って温まり、最後に男の子が言った言葉は「あしたもゆきがなくなりませんように」。バーニンガムの素朴な絵に、子どもの心情が映し出されます。初めての読み聞かせにもおすすめです。



写真/富成忠夫、茂木透
文/長新太
福音館書店

『ふゆめがっしょうだん』

ロバにコアラ、こっちはナマケモノ? いいえ、どの写真もユーモラスな表情に見えますが、この本は冬の木の芽を集めた写真絵本です。春が来るのをじっと待っている木の芽。絵本を持って、公園や雑木林に冬芽を探しにでかけてみませんか? 巻末にはそれぞれの木の名前が載っています。歌うような長新太さんの詩もとてもすてきですよ。



ぶん/いわさききょうこ
え/あらいごろう
ポプラ社

『かさこじぞう』

大晦日、びんぼうなじいさまはかさを売りに出かけました。ところがかさはひとつも売れません。帰り道、じいさまは雪が積もった六地藏さまをきのどくに思い、かさをかぶせてやりました。その晩、じいさまとばあさまの家に「じょいやさ、じょいやさ」というかけ声が近づいてきて…。素朴であたかい日本の民話です。方言や昔の言葉も楽しんでください。





0～2さい



ぶん/なかがわりえこ
絵/なかがわそうや
福音館書店

『とらたとおおゆき』

ゆきお 雪下ろしをした日、とらたはおとうさんにそりをつくって
もらいました。うれしすぎてちょっと失敗もしましたが、
そりに鈴をつけてもらい大喜び。鈴の音を聞いたお友だ
ちが集まってきて、みんなで楽しくそりすべり。とらたを
見守る大人たちのまなざしは温かく、雪が降った日のわ
くわくした気持ちや、そりすべりのうたがとても楽しいお
話です。



3～4さい



作/ウィリアム・スタイグ
訳/おがわえつこ
らんか社(旧セーラー出版)

『ゆうかなアイリーン』

かぜ 風邪をひいたおかあさんのかわりに、おやしきヘッドレスを
届けることになったアイリーン。雪がふり、ドレスの箱は
大きいので大変です。けれどアイリーンはあきらめませ
ん。おかあさんは、アイリーンを頼ってくれたのです。強
い風が大切なドレスをうばいさりました。さあドレスはみ
つかるでしょうか？懸命に立ち向かう姿に、胸が熱くな
るお話です。



4～5さい



ぶん/マック・バーネット
絵/ジョン・クラッセン
訳/なかがわちひろ
あすなる書房

『アナベルとふしぎなけいと』

アナベルは色とりどりのきれいな毛糸を拾いました。そ
れは不思議な毛糸で、いくら編んでもなくなりません。
まずは家族や友人にセーターを編みました。それでも毛
糸はなくなりません。そこで町中のいろんなものにセ
ーターを編みはじめ…。まっしろい雪と煙突から出てく
る黒いスだけのモノトーンだった世界は、徐々に色味
を帯び始めます。

【保護者のみなさまへ】

- 千代田図書館では、区立の幼稚園、こども園、保育園、児童館に司書を派遣し、読書活動の支援を行っています。
- 紹介した本は千代田図書館でもかりられます。

